



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社
 コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高原 豪久

(氏名) 浅田 茂

TEL 03-3451-5111

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	173,065	△2.5	15,039	△11.8	9,948	△28.9	8,517	47.4
27年12月期第1四半期	177,558	—	17,049	—	13,993	—	5,778	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △9,708百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 9,504百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	14.30	13.54
27年12月期第1四半期	9.62	9.61

(注) 平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成27年12月期第1四半期と、比較対象となる平成26年12月期第1四半期の期間が異なるため、平成27年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	672,097	437,091	55.9
27年12月期	702,601	451,091	55.1

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 375,465百万円 27年12月期 387,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	7.40	—	7.40	14.80
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	365,000	1.7	37,000	6.6	33,000	0.1	17,500	10.1	29.37
通期	777,000	5.2	87,000	8.8	80,000	12.1	47,000	16.0	78.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	620,834,319 株	27年12月期	620,834,319 株
28年12月期1Q	25,062,639 株	27年12月期	25,131,639 株
28年12月期1Q	595,733,505 株	27年12月期1Q	600,891,136 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年1月1日～平成28年3月31日)における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、新興国のマクロ経済の悪化や通貨安に伴う輸入原材料仕入価格の上昇等がありました。消費者ニーズに合わせたパーソナルケア関連商品の普及活動を積極的に実施いたしました。

一方、国内におきましては、引き続き高付加価値パーソナルケア関連商品の需要を喚起するため、継続的に新価値提案を実施いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供しつづけます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、市場の活性化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高173,065百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益15,039百万円(前年同四半期比11.8%減)、経常利益9,948百万円(前年同四半期比28.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益8,517百万円(前年同四半期比47.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

● ベビーケア関連商品

海外では、日本からの輸入品に対する需要が高まっている中国におきまして、インターネット販売の強化と『ムーニー』ブランドの販売促進に努めてまいりました。新興国のなかでも紙おむつの普及率がまだ低いインドにおきましては、パンツタイプ紙おむつで普及促進を図りながら販売エリアを拡大してまいりました。

国内では、ふんわりびたりでモレ安心の『ムーニー』ブランドにおいてインバウンド需要への対応を強化したほか、ディズニーキャラクターのかわいいデザインとたっぷり吸収の『マミーポコ』ブランドや、おねしょパンツなどのサブカテゴリ商品とともにラインアップの拡充とリレーション強化を図ってまいりました。

● フェミニンケア関連商品

海外では、中国におきまして、若年層から品質の高さとデザインのかわいらしさに対して引き続き高いご支持を頂いているほか、インドネシアやタイといった新興国におきましても消費者ニーズに合わせた商品で販売エリアを拡大し、更なるシェアの拡大に努めてまいりました。

国内では、生理中でもハッピーに過ごして頂けるよう敏感肌にやさしい『ソフィ はだおmoi』シリーズや、眠る幸せを味わえる『ソフィ 超熟睡』シリーズ、かわいいデザインとコンパクトな形状の『センターイン コンパクト』シリーズの販売促進に取り組み、多様化する女性のニーズに応じた新価値提案と市場の活性化に努めてまいりました。

● ヘルスケア関連商品

高齢化の進行により拡大が続くヘルスケア国内市場におきましては、今までどおり自分らしく生活を送れるようにサポートする商品の普及活動に努めてまいりました。尿ケア専用品では『ライフリー』ブランドの「ズボンにしみない、目立たない」工夫をした男性用尿もれ専用品『ライフリー 男性用 さわやかうす型パッド』シリーズに状態に合わせて尿量をお選び頂けるよう軽い尿もれに適した商品をラインアップに加えるなど、『チャームナップ』ブランドとともに“軽い尿もれ”は誰にでもあることとして抵抗感を払拭する活動を継続して実施してまいりました。また、介護用品『ライフリー』シリーズとともにテレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて販売促進にも積極的に取り組み、排泄ケア市場をリードしてまいりました。

●クリーン&フレッシュ関連商品

クリーン&フレッシュ国内市場におきましては、住環境やライフスタイルの変化に伴い、リビング周りをいつも清潔に、家中を限られた時間で簡単にお掃除したいというお客様が増えているなか、冬に溜まったホコリを舞い上げずに楽しくお掃除をして頂けるよう「家中まるごと、これ一本！」のお掃除用ハンディワイパーから『ウェーブハンディワイパー スプリングデザイン』を限定発売し「快適・便利・衛生的」をコンセプトに日常生活を快適に過ごすための提案を行ってまいりました。

この結果、パーソナルケアの売上高は151,940百万円（前年同四半期比2.8%減）、セグメント利益（営業利益）は14,678百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

②ペットケア

犬・猫の飼育環境が室外からリビングへと変化し、ペットの高齢化も進むなか、人とペットがいつまでも健康に快適に過ごせる共生社会の実現に向けた商品の提案に努めてまいりました。

国内ペットトイレタリーにおきましては、平成13年から現在まで15年連続売上No.1ブランド※1の『デオシート』ブランドに「さらふわ吸収シート」を採用※2し、おしっこの吸収スピードと逆戻りを大幅に改良した『デオシート しっかり超吸収 無香消臭タイプ』を発売したほか、やさしい香りですっきり消臭の『デオシート ふんわり香る消臭フレグランス』を発売し、高まる清潔、消臭ニーズに応えてまいりました。また、“春”をイメージした“桜の香り”の『デオシート ふんわり香る消臭デザインシート』を限定発売し、市場の活性化を図ってまいりました。

国内ペットフードにおきましては、猫の長寿化が進み、飼育頭数も増加トレンドのなか、いつも喜んで食べてもらえるよう一袋で2つの味が楽しめる『銀のスプーン 海の贅沢素材 2種のアソート』と、かつお・白身魚をふわふわのうす削りに仕立てた『銀のスプーン ふわふわトッピング』を新発売するなど、最後まで飽きないおいしさを実現してまいりました。また、厳選の贅沢素材を一箱で4種類楽しめるスーパーグルメフード『銀のスプーン 三ツ星グルメ お魚レシピに贅沢素材 4種のアソート』と、はごろもフーズ(株)と共同開発した国産天然まぐろ100%のフレークと贅沢具材を用いた『銀のスプーン 三ツ星グルメ パウチ 国産プレミアム』を新発売し、高付加価値市場創造にも努めてまいりました。

北米市場におきましては、犬用シートや軽量タイプ猫砂の販売が引き続き堅調に推移したほか、米国初のコンセプトとなる猫用ウェットタイプおやつの上も順調に拡大してまいりました。

この結果、ペットケアの売上高は19,696百万円（前年同四半期比1.9%減）、セグメント利益（営業利益）は288百万円（前年同四半期比40.3%増）となりました。

※1 ペットシート市場平成13年1月～平成27年12月各年累計販売金額（インテージSRI調べ）

※2 さらふわ吸収シートは、レギュラー・ワイドへの搭載

③その他

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野におきましては、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

この結果、その他の売上高は1,429百万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益（営業利益）は72百万円（前年同四半期比115.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は672,097百万円(前連結会計年度比4.3%減)となりました。主な減少は、受取手形及び売掛金△12,456百万円、投資有価証券△5,877百万円、原材料及び貯蔵品△4,540百万円、建物及び構築物(純額)△2,820百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は235,006百万円(前連結会計年度比6.6%減)となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金△11,023百万円、未払法人税等△4,434百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は437,091百万円(前連結会計年度比3.1%減)となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益8,517百万円、主な減少は、為替換算調整勘定△12,294百万円、配当金の支払い△4,408百万円、その他有価証券評価差額金△3,777百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は55.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成28年2月12日発表と変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,503	140,473
受取手形及び売掛金	95,476	83,019
商品及び製品	30,169	30,494
原材料及び貯蔵品	32,499	27,959
仕掛品	1,360	1,240
その他	33,833	34,354
貸倒引当金	△148	△141
流動資産合計	331,693	317,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,428	73,607
機械装置及び運搬具(純額)	130,254	129,335
その他(純額)	41,125	38,380
有形固定資産合計	247,808	241,324
無形固定資産		
のれん	67,359	65,073
その他	22,468	20,780
無形固定資産合計	89,828	85,854
投資その他の資産		
投資有価証券	23,611	17,734
繰延税金資産	2,195	2,275
退職給付に係る資産	2,160	2,501
その他	5,393	5,099
貸倒引当金	△91	△91
投資その他の資産合計	33,270	27,518
固定資産合計	370,907	354,697
資産合計	702,601	672,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,799	82,776
短期借入金	3,846	6,432
未払法人税等	7,667	3,233
賞与引当金	5,514	3,583
その他	57,801	57,741
流動負債合計	168,630	153,766
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	54,421	54,176
長期借入金	10,757	10,577
退職給付に係る負債	5,295	5,320
その他	12,403	11,164
固定負債合計	82,878	81,239
負債合計	251,509	235,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	6,858	6,834
利益剰余金	366,777	370,886
自己株式	△41,101	△40,994
株主資本合計	348,527	352,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,164	7,387
繰延ヘッジ損益	△6	△47
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	33,804	21,510
退職給付に係る調整累計額	△6,136	△5,947
その他の包括利益累計額合計	38,667	22,745
新株予約権	276	309
非支配株主持分	63,619	61,316
純資産合計	451,091	437,091
負債純資産合計	702,601	672,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	177,558	173,065
売上原価	99,327	94,077
売上総利益	78,231	78,988
販売費及び一般管理費	※ 61,181	※ 63,949
営業利益	17,049	15,039
営業外収益		
受取利息	414	732
受取配当金	1	1
助成金収入	7	9
デリバティブ評価益	31	1,121
未払配当金除斥益	1,028	—
その他	293	339
営業外収益合計	1,777	2,203
営業外費用		
支払利息	145	126
売上割引	964	429
為替差損	3,697	6,322
その他	28	416
営業外費用合計	4,834	7,295
経常利益	13,993	9,948
特別利益		
固定資産売却益	1	10
投資有価証券売却益	—	3,659
特別利益合計	1	3,670
特別損失		
固定資産処分損	26	129
特別損失合計	26	129
税金等調整前四半期純利益	13,967	13,488
法人税、住民税及び事業税	2,789	2,780
法人税等調整額	2,933	1,349
法人税等合計	5,723	4,129
四半期純利益	8,243	9,358
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,464	841
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,778	8,517

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	8,243	9,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,666	△3,777
繰延ヘッジ損益	△8	△79
為替換算調整勘定	△1,382	△15,405
退職給付に係る調整額	△14	195
その他の包括利益合計	1,260	△19,067
四半期包括利益	9,504	△9,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,557	△7,405
非支配株主に係る四半期包括利益	1,947	△2,303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
販売運賃諸掛	8,942百万円	9,020百万円
販売促進費	29,847百万円	31,722百万円
広告宣伝費	4,566百万円	5,461百万円
従業員給与・賞与	4,516百万円	4,852百万円
賞与引当金繰入額	975百万円	1,003百万円
退職給付費用	485百万円	588百万円
減価償却費	928百万円	813百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去又は 全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナル ケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	156,245	20,082	1,230	177,558	—	177,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	156,245	20,082	1,235	177,563	△4	177,558
セグメント利益(営業利益)	16,810	205	33	17,049	—	17,049

当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去又は 全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナル ケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	151,940	19,696	1,429	173,065	—	173,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	9	9	△9	—
計	151,940	19,696	1,438	173,075	△9	173,065
セグメント利益(営業利益)	14,678	288	72	15,039	—	15,039